

令和3年度 和歌山市立東和中学校 運営計画書（スクールプラン）

校長 清水 歩

作成日 令和3年4月1日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力の向上
- 生活面での自立
- 差別やいじめのない環境
- 教師の授業力向上
- 学校からの正しい情報の発信
- 家庭・地域・学校の連携

【学校教育目標】

人権尊重の精神を全教育活動の基盤とした
心豊かな人間性と確かな学力、たくましく
生きる力を持った生徒の育成

【めざす生徒像】

自立し、共同体感覚を持った生徒

前年度の学校評価

- 授業改善による学校改革が進んでいる
- 学校教育目標の実現に向けた取組がされている
- 地域とともに取り組んでいる
- 情報発信の検証に工夫がほしい

生徒の実態（概ね）

- 親しみやすく素直な生徒が多い
- 人権意識は比較的高い
- 学習状況は、活用に向かう力はあるが、基礎の定着に課題がある
- 基本的生活習慣が不安定で、家庭学習の習慣化ができていない

重点目標

心豊かな人間性の育成

- ◎人権・同和教育の推進
- ◎道徳教育の充実
- ◎学び合いの授業づくりの推進

確かな学力の育成

- ◎学び合いの授業づくりの推進
- ◎言語活動の充実
- ◎家庭学習による基礎学力の定着

たくましく生きる力の育成

- ◎発達を支える指導の充実
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎体力向上への取組
- ◎危険回避能力の育成

地域とともにある学校づくり

- ◎学校運営協議会の充実
- ◎地域の資源活用による協働
- ◎小中連携の充実
- ◎積極的な情報の発信

◎…特に重点的に取り組むこと

具体的な取組

- ◎人権・同和教育において、生徒の発達段階に配慮した系統性のあるカリキュラムを作成し実践する
- ◎道徳科において、教科書を中心に「希望へのかけはし」を効果的に取り入れながら、全教員が授業者として取り組む
- ◎本校の学び「TOWA7」により、共同体感覚の育成に努める
- いじめアンケート等により、いじめの積極的認知、未然防止、早期発見早期対応に努める

- ◎学び合いの授業づくりの実践的研究を進め、生徒個人の学びを相互に援助し合って進める協同的な学習を支援することで、主体的・対話的で深い学びを実現する
- ◎教科の本質に迫る学びの創造を図る
- ◎「朝の読書活動」を充実させ、言語に関する能力の育成を図る
- 宿題により、家庭学習の習慣化を進め、基礎学力の定着を図る

- ◎ガイダンスとカウンセリングの機能充実
- ◎「宮前っ子子育てプラン」を全家庭に配付し、「早寝、早起き、朝ごはん」の推奨やスマートフォン使用上の留意点について等、家庭や地域とともに取り組む
- 基本的生活習慣の確立と体力の向上をめざし、始業前15分程度の有酸素運動や散歩等の「朝ラン」への参加を促す
- 実効性のある避難訓練や安全教室を計画的に行う

- ◎学校を積極的に公開し、学校運営協議会の評価をマネジメントに活かす
- 地域の人材、施設等の活用により、教育効果を高める
- 小学校の学習内容を把握し、9年間を見通した計画に基づいた教育活動を行う
- 各種便りやHP等により、学校の情報を発信する

指標

- * 学校が楽しいと感じる生徒90%
- * いじめ解消率100%
- * 先生は力になってくれると感じる生徒90%

- * 学び合いの授業実施率100%
- * 県学習到達度調査の正答率が県平均と同等以上

- * 支援学校のセンター機能活用年3回以上
- * 朝食摂取率90%及びスマートフォン使用時間全国平均と同等
- * スポーツ実施率週1回以上90%、週3回以上80%

- * 学校運営協議会委員による学校評価が概ね満足
- * 学校の様子がよく伝わったと思う保護者90%